

(別記)

令和3年度みよし市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

みよし市は、ほぼ平坦地で水田農業が盛んとなっており、主力は水稲、麦、飼料用米である。麦は一部団地化され担い手による作付が進められている。

都市型農業のため兼業農家が大半を占め、後継者不足が課題となっている。また、未整備の農地があり、受け手のない状況が散見されている。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

みよし市では、水田における転換作物として、小麦、飼料用米を推進している。

今後も生産性（単収）や品質向上を重視するとともに、更なる団地化を進めるために、モデル地区を設定して、大区画化を推進していく。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

みよし市では、水田における転換作物の現地確認を行い、水稲を組み入れず畑作物のみを生産している水田の状況も併せて把握している状況である。現状、畑作物のみを生産している農家は、耕作面積が小さい農家がほとんどで後継者が不在となった場合は、大規模法人組織等に利用集積をしていき、水田で水稲・麦のブロックローテーションを行って水田をフル活用していく方針であるため、今後もブロックローテーションを維持するには、耕作者の意向に配慮して畑地化は積極的に推進しない。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

売れる米作りの徹底により米の主産地としての地位を確保する。前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ米の生産を行う。

(2) 備蓄米

主食用米と同じ機械、施設で取り組めるため、平成25年度から取組を開始した。現行の面積を維持していくこととする。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米 イ 米粉用米

飼料用米・米粉用米は、重要な転換作物として捉えて作付面積を維持・拡大していく。また、水田をフルに活用するため麦あとに作付された飼料用米・米粉用米について現行の面積を維持・拡大していくこととする。主体は飼料用米であるが、実需者の要望に応えるため米粉用米にも取り組むこととする。

ウ 新市場開拓用米 エ WCS用稲 該当なし

オ 加工用米

地域の実需者との契約に基づき、求められている数量を作付していく。また、複数年契約によって生産の安定を図る。

(4) 麦、大豆、飼料作物

ア 麦

団地を維持し収量の確保と高品質生産を今後も続けていくため、また、収量・品質を向上させるための明渠排水の敷設または設置を推進し、栽培面積を拡大していく。

イ 大豆

水田をフルに活用するため、麦あとの作付を推進していく。

ウ 飼料作物

地域の実需者との契約に基づき、求められている数量を作付していく。

(5) そば、なたね 該当なし

(6) 高収益作物

販売目的での野菜、花きの作付については、栽培面積の拡大を推進していく。

5 作物ごとの作付予定面積等

作物等	前年度の作付面積等 (ha)	当年度の作付予定面積等 (ha)	令和5年度の作付目標面積等 (ha)
主食用米	223	215	210
備蓄米	49	46	46
飼料用米	32.7	50.0	50.02
米粉用米	-	0.2	0.22
新市場開拓用米	-	-	-
WCS用稲	-	-	-
加工用米	-	-	0.1
麦	42.0	44.0	46.0
大豆	2.5	3.8	4.0
飼料作物	1.9	2.1	2.3
・子実用とうもろこし	-	-	-
そば	-	-	-
なたね	-	-	-
高収益作物	48.4	47.2	48.0
・野菜	27.0	27.0	27.3
・花き・花木	1.4	1.2	2.0
・果樹	20.0	19.0	19.3
・その他の高収益作物	-	-	-
その他	-	-	-
・	-	-	-
畑地化	-	-	-

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標値(R5)	
				前年度(実績)	目標値(R5)
1	野菜、花き (基幹作)	高収益作物に対する 助成	(取組面積) 野菜 花き 計	(2年度) 437.13a 44.76a 481.89a	(5年度) 650a 50a 700a
2	麦類 (基幹作物・ 二毛作)	麦類の団地化(1ha以 上)、品質向上に対 する助成	(作付面積) 麦類	(2年度) 4208.34a	(5年度) 4600a
3	米粉用米、飼料用 米(基幹作物、二 毛作)	水田フル活用による 米粉用米、飼料用米 の品質向上に対する 助成	(作付面積) 米粉用米 飼料用米 計	(2年度) 0a 3277.46a 3277.46a	(5年度) 22a 5002a 5024a
4	麦、大豆、飼料作物 (二毛作)	麦、大豆、飼料作物に よる二毛作に対する 助成(二毛作)	(取組面積) 麦 大豆 飼料作物 計	(2年度) 4110.18a 0a 190.73a 4300.91a	(5年度) 4300a 50a 220a 4570a
5	麦、大豆、飼料作 物、米粉用米、飼料 用米、加工用米、野 菜、花き (基幹作)	転換作物の作付拡大 に対する助成	取組拡大面積	(2年度) —	(5年度) 80a
6	飼料用とうもろこ し、加工用米、野 菜、花き (基幹作)	高収益作物等の作付 拡大に対する助成	取組拡大面積	(2年度) —	(5年度) 40a

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧(会員名簿)を添付してください。